

学校運営計画		年度末評価
学校教育目標	具体的目標	
(1) 「知・徳・体」それぞれの調和の取れた発達をはかり、豊かな人間性を養う。 (2) 確かな学力を保障し自律した個の育成を図る。	(1) 授業をとおして学問への知識・理解を深め、創造的知性を養う。 (2) 生徒会活動やボランティア活動など自主的な活動をとおして自然愛・人類愛に根ざす豊かな情操を養う。 (3) 学校行事や総合的な学習の時間などの活動をとおして、健康でたくましい心身を養う。	
昨年度の成果と課題	今年度の重点目標	
探求的な学びを念頭に置いた授業の研究や新しい授業スタイルなど、「わかる授業」の研究、実践についての評価は職員間で差があり、達成度の高い個々の研究、実践を共有する方策を探ってゆきたい。支援を要する生徒に対しては、外部機関との連携も含めた支援体制が構築されてきているが、学習意欲の低い生徒への働きかけが課題である。授業へ興味を持って参加できるよう引き続き工夫していく。コース制、習熟度別授業や、ひばりヶ丘アカデミーなど既存の学習支援システムを検証しながら実践していくことで、本校の学習環境を整え、更なる充実を図りたい。	(1) 他者を認め支え合う関係を育み、いじめ・暴力を許さない学校をつくる。 (2) 主体的に学習を続けながら、課題解決の資質を育む授業を推進する。 (3) 計画的できめ細かな支援により、進路希望の実現を図る。	

領域	評価項目	私たちの具体的取り組み	年度末評価	次年度の主な課題
教育活動	教科指導	探求的な学びを念頭に置いた「わかる授業」の具体的な研究と実践ができたか。		
		生徒の基礎学力の向上を図る取り組みが行えたか。		
		生徒の知的好奇心を伸ばす取り組みが行えたか。		
	生徒指導	いじめ・暴力を絶対に許さない・見逃さない学校をつくることのできたか。		
交通安全教育を推進し、生徒の安全意識を高めることのできたか。				
進路指導	生徒の就業体験を推進することのできたか。			
	卒業時の具体的な進路を保障できたか。			
特別活動の指導	生徒会活動にあっては、出来る限り地域との交流を企画し実施できたか。			
	部活動にあっては、生徒の力を伸ばすような指導ができたか。			
	多様な生徒に対しての支援活動ができたか。			
学校運営	地域との連携	学校評議員制度を有効に活用することのできたか。		
		生徒の優れた活動や学校の成果を地域に知らせることができたか。		
		教職員が地域の活動に積極的ににかかわることができたか。		
		積極的に授業を公開することができたか。		

	職員研修	積極的に研修を企画し、参加できたか。			
	組織運営	学校目標についての意識を高め、自己の課題を持ちながら教育活動を行えたか。			

[年度末評定は A (達成できた)・B (ほぼ達成できた)・C (あまり達成できなかった)・D (達成できなかった) の4段階評定]